



つじむら きいち

辻村 喜一 氏

生年月日 大正 4 年 6 月 15 日生

住 所 田辺市湊

大正 4 年 (1915 年) 6 月 15 日、西牟婁郡三栖村 (現田辺市下三栖) に生まれる。郷土のすばらしいもの、失われる文化を次代の人たちのために保存したいという信念により、郷土発展に多大の貢献をした。

元来、美術に造詣が深く、自店の二階を開放して郷土芸術家の個展を開催し続け、その顕彰に努めたことにはじまり、郷土民具の収集を通じてこれら祖先の遺品を私することの非を痛感し、亡びゆく民具 600 点を高山寺民具館に寄進。続いて郷土玩具の復元、開発にあたり、これによって「紀州てまり」の郷土玩具を生ぜしめたほか、田辺藩の狩野派絵師真砂幽泉の研究とその顕彰、墨仙鈴木梅仙翁の研究とその業績をたたえての展覧会の開催 (昭和 48 年 (1973 年) 秋)、加えて、昭和 46 年 (1971 年) 頃から青摺衣すなわち古くから宮中の特別儀式のときなどの衣の摺染に使われたといわれる山藍の研究を始め、染色学界で「藍色でなく緑色」と、幻の色素とされていた山藍による染色に取り組み、苦心研さんによって昭和 51 年 (1976 年) 末、定説を覆す「幻の藍色」を絹布に再現し学界から注目された。

現在もまだ知られざる謎多きこの研究を続け、常に郷土の何かを求めて地道な努力を重ねている。

なお、昭和 46 年 (1971 年) 9 月から昭和 49 年 (1974 年) 5 月まで田辺市の教育委員会委員長を務めた。

(略 歴)

昭和 12 年 (1937 年)	金沢医科大学薬学専門部卒業
昭和 12 年 (1937 年) 4 月	東京六櫻社研究室入社
昭和 13 年 (1938 年) 5 月	陸軍応召、軍医学校薬剤部派遣
昭和 14 年 (1939 年) 2 月	大阪陸軍病院附
昭和 21 年 (1946 年) 6 月	外地陸軍病院貨物廠附を経て復員
昭和 21 年 (1946 年) 8 月	紀南病院薬局長
昭和 21 年 (1946 年) 12 月	同退職
昭和 22 年 (1947 年) 3 月	薬局開設
昭和 31 年 (1956 年) 1 月	有限会社紀南薬局設立、代表取締役

第 10 回 (昭和 54 年)

昭和 44 年 (1969 年) 12 月 田辺市教育委員会委員

昭和 46 年 (1971 年) 9 月 田辺市教育委員会委員長

その他 田辺市学校保健協会副会長、田辺西牟婁学校薬剤師会会長、
和歌山県学校薬剤師会副会長及び田辺公衆電話協会会長等歴任

(著 書)

『古典に見る山藍染』、『現代の山藍論説』、『幻の山藍摺の歴史と実験』